

令和5年度「指導と評価の年間計画」（シラバス）

教科	科目	解説学年 (年次)	単位数	教科書名	副教材
国語	論理 国語	2	1	論理国語（筑摩書房）	①基礎から学ぶ解析古典文法三訂版（桐原書店） ②新版六訂カラー版新国語便覧（第一学習社） ③読解現代文必携 キーワードの卵（尚文出版） ④三訂版 わかる・読める・解ける 古文単語330（いっぴろ書店） ※④応用クラスのみ

到達目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
評価の観点	<p>【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【主体的に取り組む態度】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

月	考查	教材名	学習内容	時数	評価方法
4	一学期 単元 テスト	第1章 「アイオワの玉葱」	①ことばの性質とともに、日常生活で感じた小さな違和感や気づきに問題を見つけ、考えを深めていく筆者の思考のありかたに注目する。 ②本文中で、言語と文化に関する筆者のどのような考えが表れているかを考える。 ③日本語のことわざや慣用語と同じ意味を持つ表現をさまざまな言語から探し、表現の仕方の違いや、その印象について話し合う。	3	週末課題 単元テスト 発表など
5		第1章 「一〇〇パーセントは正しくない科学」	①物事を筋道立てて考えるために役に立つ論理学の用語や、科学における仮説の意味などを学ぶ。 ②科学が「100%は正しくない」とはどのようなことか、考える。 ③身近な出来事から推論の例を考え、本文にならってその推論を図に書いて説明する。	3	
6		第3章 「沖縄戦を聞く」	①本文を通して「聞く」ためにはどのような姿勢が必要なのか、考える。 ②「生活史」という観点に注目しながら、身近な人の聞き取り調査を行い、聞き取った内容を文章にしてみる。	2	
7		第2章 「ファッションの現象学」	①「対比」の効果について考える。 ②抽象的な表現の仕方を通して、学習の基礎となる重要語句を文章のなかで理解する。 ③本文中のことばの意味を調べ、それらの語を用いて短い文章を書く。	3	
7 8	課題	論証の作法 実践①多様な文章に触れよう	①論理的な思考をもとに相手を説得する「論証」の、三つの要素（主張、根拠、論拠）について学ぶ。 ②身の回りにおける実用文の一つである法令分の読み方と活用の仕方を学び、新聞記事も参考にしながら、法令と社会の関係について考える。	2	課題
9	二学期 単元 テスト	第4章 「現代日本の開化」	①本文を読んで「いつ・どこで・誰が・どんな立場から」語った文章なのか意識する。 ②本文を読んで観客を前にした講演ならではのレトリックに注目する。 ③筆者・夏目漱石について調べてみる。 ④「こころ」「夢十夜」などの漱石の著作を読み、その内容を違いに紹介する。 ⑤漱石が「現代日本の開化」を講演した当時の日本社会にはどのような課題があったかを調べ、発表する。	3	週末課題 単元テスト 発表など
10		第5章 「異時代人の目」	①本文を読み、筆者が明らかにする人間の知性の「限界」と「希望」とを正しく読み取る。 ②筆者は「歴史学」をどのようなものと考えているか、まとめる。 ③大きな「価値の転換」が起こった歴史上の事例を調べて、発表する。	3	
11		第5章 「荘子」	①本文を読んで、古典の意義はどこにあるのか、歴史を経た叢智がさまざまな解釈によってよみがえることを学ぶ。 ②本文中に引用されている漢文の書き下し文と、その現代語訳を朗読し、それぞれの文章が与える印象の違いはどのような点に起因するか、話し合う。 ③『老子』や『荘子』、あるいは日本の古典を読み、そこから気に入った一節を遺尿して、どのような考え方が見いだせるか、文章にまとめる。 ④ ③について、どうした考え方は現代においてどのように生かすことができるか、話し合う。	3	

12	単元テスト 二学期	第6章 「貧困は自己責任なのか」	①本文を読んで、引用の中の語句を解釈しながら自説を組み立てる論法に留意する。 ②本文を読んで、筆者の考え方を理解し、現代社会の問題点に光を当てる視座の見だし方を学ぶ。 ③貧困の自己責任論と筆者の主張が相容れないのはなぜか、200字以内でまとめる。 ④貧困問題を抱える社会にとって豊かさとは何か、本文の議論を踏まえた上で話し合う。	3	週末課題 単元テスト 発表など
12 1	課題	第7章 「桜が創った『日本』」	①本文を読んで、既存の関係を相対化するために視点を反転させる思考のあり方を学ぶ。 ②桜を扱った和歌や文学作品について調べ、その中で「桜」がどのように描かれているか、まとめる。 ③関心のある物事を選び、本文を参考に、人間以外の存在の観点から400字以内で論じる。	1	課題
2	三学期	第8章 「トリアージ社会」	①本文を読んで、ことばの変遷を追うことによって社会の実像が見えてくるということ学ぶ。 ②治療において「トリアージ」が導入されることについてどのように考えるか、自分の意見をまとめる。 ③本文をもとに、自分は人間をどのような存在だと考えるか、自分の考えをまとめる。	3	週末課題 単元テスト 発表など
3	単元テスト	第9章 「ビッグデータ時代の『生』の技法」	①本文を通して、現実生きる人々の具体的な姿から、あるべき社会を描き出す議論の手法を学ぶ。 ②自分たちの身近な場面で「ビッグデータ」がどのように活用されているか調べ、その内容を発表する。 ③「ビッグデータ」活用にもなうメリットとデメリットについて考え、自分の意見をまとめる。	3	
3		実践③ 資料や情報を吟味して、自分の考えにつなげよう	①現代社会にあふれる情報の「質」を吟味して、自分の考えにつなげる。 ②複数の主張を比較することで、特定の立場に偏らない情報の集約を行う。	3	課題